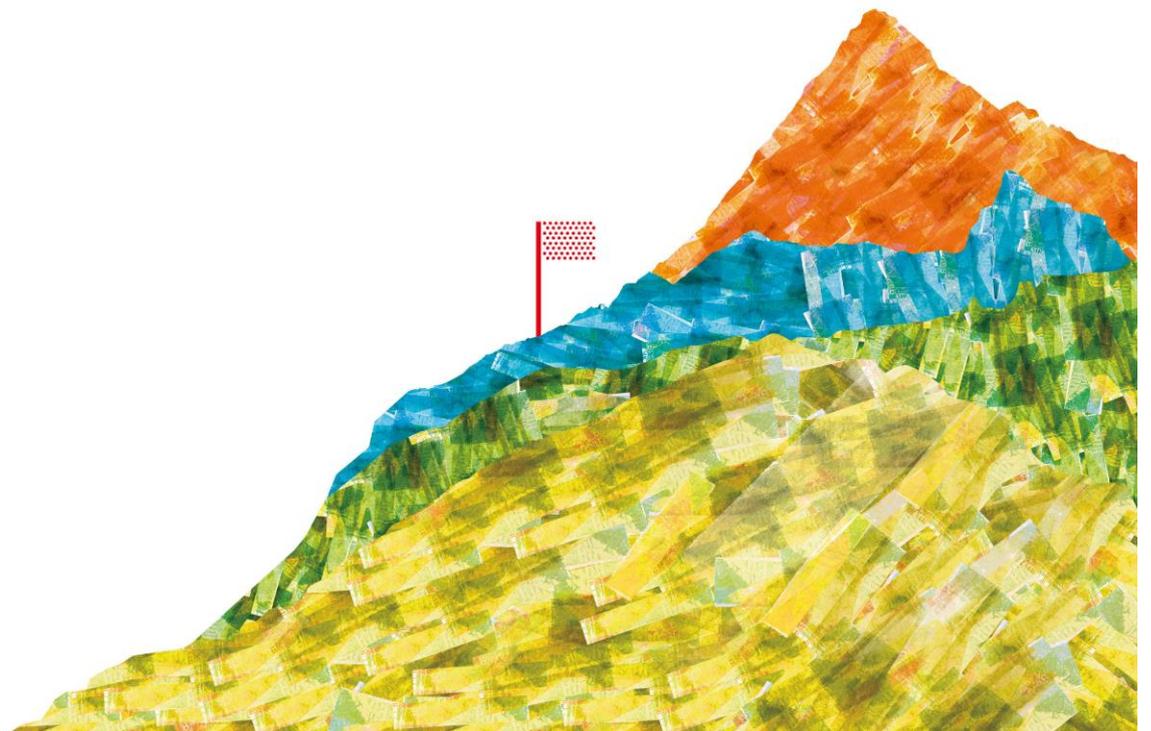


令和2年度 事業報告書

(北東京エリア)



社会福祉法人 こうほうえん

鳥取県境港市誠道町 2083 番地

令和2年度事業報告書（北東京エリア）

- 1 令和2年度総括（成果、反省等を簡単に）
 - 1) 経営の安定化を図るため、入居者を入院させない健康な身体作りや魅力あるデイサービスづくりを実践すると共に、稼働率の改善に取り組んだ。特に、事業所単位で毎月財務分析を行い、収支課題を見える化し、具体的な改善を図った。（全施設）
 - 2) 皆がさらに生き生きと働ける職場環境を創るため、業務改善提案制度をエリアで導入し、事業所単位で職員自ら職場の改善に向けた提案を行い、職場として改善に取り組める仕組みとした。（全施設）
 - 3) 一人ひとりが主体となり「先ずやってみよう」とする人財を育成するため、役職者から職員への積極的な声掛けを励行し、エリア内の少数職種の連携を図るなど、エリア内のワンチーム化に取り組んだ。（全施設）

- 2 トピックス（新規事業、重点実施事業等（独自で実施している地域貢献活動含む））
 - 1) 短期入所に機能訓練指導員を専従配置しご利用者ニーズに応えるとともに、新規加算算定を行った。（うきま幸朋苑）
 - 2) 在宅の送迎運転業務を委託から職員実施スタイルに切り替え、経費の削減を図った。（うきま幸朋苑）
 - 3) コロナ禍での面会方法をタブレットによる Zoom 面会を導入し、感染拡大防止を図ると共に、ご利用者ご家族の不安の軽減に努めた。（うきま幸朋苑）
 - 4) 新人職員の採用が減る傾向にある中で、海外技能実習制度を活用しフィリピン人2名を追加雇用し計4名となった。（うきま幸朋苑）
 - 5) ヘルスケアタウンうきまは、築後13年が経過し老朽化が見え始めてきたことから、外壁の防水塗装・内壁のクロス張替・ガス給湯器取替・建具取替等工事を大規模的に実施し修繕した。（うきま幸朋苑・ブレッド&バター）
 - 6) コロナ禍でのパンの販売ルートが縮小化する中で、SNSの活用による店内販売促進や、犬連れお客の利用促進、オリジナルエコバッグのモニターによる宣伝活動、上野駅構内マルシェ出店、法人内互助会への販路先の拡大など、新たな収益拡大に取り組んだ。（ブレッド&バター）
 - 7) ヘルスケアタウンうきまでは、特養・保育・ブレッド&バターそれぞれの事業所単位で施設周辺の地域清掃に取り組んだ。ブレッド&バターでは、SNSを活用し清掃活動の様子を配信した。（うきま幸朋苑・ブレッド&バター）

- 3 エリア目標の達成度合とその評価（戦略会議の資料等）
 - 1) 稼働率アップに向けた取り組み
 - ・ 特養は目標である97%を上回った。要因としては前年度課題であった入院を減らす取り組みとして、入院させない健康な身体作りに取り組んだこと。また、新規入居に際し時間を要していたことから、退所者が発生する以前に入所調整を進めることで、退所から概ね2週間以内

に新規入居していただいたことが、稼働率をアップすることに繋がった。

- ・ 在宅はコロナの影響が続き、目標稼働率に至らなかった。
- ・ ブレッド&バター就労支援事業においては、コロナ過により外販が厳しい状況であったが、店内販売が好調であり、大口の販路拡大の影響もあり、収支は黒字となった。

2) 皆がさらに生き生きと働ける職場を創る

- ・ 「人財成長ノート」を基に人財成長責任者を決め、定期的に介護技術の進捗度合を見ながら面談を重ねるなど、職員が自分の出来ている仕事の進捗が見え、相談しやすい体制作りを図った。結果として離職率を10%内に抑え、派遣職員を9名削減した。(うきま幸朋苑)
- ・ 業務改善提案制度を導入し、職員自ら職場の改善に向けた提案を年間19件実行した。(うきま幸朋苑・ブレッド&バター)
- ・ チーム間のコミュニケーションを図り情報共有するため、モーニングカンファと称し短時間での多職種によるミーティングを毎日実施した。(うきま幸朋苑)
- ・ 前年度からの業務改善事項を20項目定めると共に、毎月進捗状況を確認しながら業務の改善に努め、チームから6件の研究発表に繋がった。(うきま幸朋苑)

3) 一人ひとりが主体となってエリアスローガンを実行する

- ・ 役職者から職員への声掛けを実践し、「先ずやってみよう」とする人財の育成に努めた。(うきま幸朋苑・ブレッド&バター)
- ・ エリア内の職種間の連携を創るため、少数職種である事務職員の会議体を設置し、採用関係や小口現金の廃止に向けた取組みなど積極的に協議した。(北東京エリア)

4 入所系事業所（デイハウスは登録人数）の稼働率の推移（稼働率：小数点第1位）

事業所名	定員（人）	令和2年度（%）	令和元年度（%）	平成30年度（%）
うきま幸朋苑 特養	115	97.4	96.1	96.5
短期入所生活介護	19	90.0	93.3	97.7
デイサービス	30	62.9	81.0	86.0

5 各エリアの取り組み実績

年間行事一覧	[4月]花見 [5月]菖蒲湯 [6月] [7月]七夕行事 [8月]スイカ割り、縁日 [9月]長寿を祝う会、運動会 [10月] [11月]ゆず湯 [12月]クリスマス会、餅つき、忘年会 [1月]新年会
--------	--

	<p>[2月]節分行事 [3月]</p>
<p>エリア内研修状況</p>	<p>新人研修、中途採用者研修、コンプライアンス研修、排泄ケア研修、これからの医療・介護経営塾、食中毒研修、認知症研修、看取りケア研修、ユマニチュード研修、介護職員3・4年目研修、身体拘束適正化研修、福祉施設苦情対応研修、感染症研修、介護報酬改定に伴う体制加算取得研修、ICT導入研修、リーダー層研修、リフト操作、虐待研修、嘔吐物処理研修、キャリアパス制度研修</p>
<p>エリア内会議、委員会活動</p>	<p>[会議]北東京エリア調整会議、北東京エリア苦情解決第三者委員会、北東京エリア虐待防止委員会、経営企画会議、特養主任会議、ユニットリーダー会議、ユニット会議、給食会議、 [部会]リスク部会、褥瘡予防対策部会、排泄部会、身体拘束適正化委員会、衛生委員会、</p>
<p>委員会活動等の成果・実績・反省</p>	<p>[リスク部会] ・ 3-1レベルの事故については、自フロアで再発防止策を検討すると共にリスク部会でも議題に挙げ、同様の事故を減らす取り組みをした。また事故防止に繋げるため0レベル報告を毎月20件以上あげる取り組みを実践したが、3-1レベルの事故軽減に繋がらなかったため、事故軽減に向けた取り組みを検討していきたい。</p> <p>[褥瘡対策委員会] ・ 主に褥瘡発生原因について検討を積み重ね、褥瘡の発生をほぼ0に近づけた。また発生した場合においても早期完治に向けて委員会メンバーで検討し、1ヶ月内で完治する事ができた。</p> <p>[排泄部会] ・ 今年度目標であったパット料金対前年費5%のコスト削減を達成した。また排便時に使用していた清拭タオルを使い捨てのティッシュに変更したことで、皮膚トラブルの減少、臭い対策に大きく貢献した(コストは清拭タオルと同様)</p> <p>[身体拘束等適正化委員会] ・ 3ヶ月に1度開催。主に言葉の乱れについて問題のある職員と個別面談を実施し改善を促した。課題として「なぜ現場で言葉の乱れ」が生じるか根本的な原因を考え、改善に繋げていきたい。また「アンガーマネジメント研修」の開催を検討していきたい。</p> <p>[衛生委員会] ・ コロナ陽性者発生に伴い働き過ぎ職員が1名いたが、終息に伴い0名となった。 ・ 計画有給5日間取得は2名が3日間取得できていなかった為、取得漏</p>

	れが無いよう本人への周知と、毎月の確認の徹底を図る。
--	----------------------------

6 人財状況

外部研修等講師派遣実績	東京地区中途採用者研修、北区リハネットシーティング勉強会、病後児保育担当看護師による他保育園巡回支援
外部役職就任状況	北区特養入所調整委員
外部表彰受賞状況	北区区政功労者(社会生活功労/田原淳)

7 地域貢献実績

実習受け入れ実績 延人数 100人	喀痰吸引等実地研修
ボランティア受け入れ実績 延人数 2人	身体介助、傾聴、皿洗い、
見学受け入れ実績 実人数 1人	特養入居希望者
地域交流活動実績1 実施回数 0回 延人数 0人	(事業所内又はこうほうえんが主催した交流事業) コロナの影響で中止
地域交流活動実績2 実施回数 0回 延人数 0人	(地域の交流事業に利用者と共に参加したもの) コロナの影響で中止
ボランティア・環境 活動参加実績1 投入人数 29人	(清掃活動・消防団活動・地域防災活動等) 地域清掃活動
ボランティア・環境 活動参加実績2 投入人数 0人	(見守り活動・学校活動の手伝い等)
地域発信活動実績 (介護、看護の日、 イベント開催等)	北区内施設長会

地域発信活動実績(認知症サポーター養成講座)	(回数、養成者数、資格者投入人数は、必ず記入してください。)
地域発信活動実績 (講習会、講演会の主催及び参加等)	



社会福祉法人 こうほうえん

令和3年6月24日

社会福祉法人こうほうえん

〒684-0063 鳥取県境港市誠道町 2083 番地

法人本部事務局

〒683-0853 鳥取県米子市両三柳 1400

TEL (0859) 24-3111 FAX (0859) 24-3113
